


百十四グループ

「長期ビジョン2030」に係る
サステナビリティKPIの見直し

2026年4月

 百十四銀行

外部環境の変化

人口減少をはじめとする外部環境に中長期的な視点で対応し、更なる収益の拡大につなげる。

当行を取り巻く環境

政治的要因 -Politics-

- ✓ 金融政策の転換による市場金利の上昇
- ✓ 地政学リスクの顕在化による国際情勢の懸念の高まり

経済的要因 -Economy-

- ✓ 賃金と物価の好循環を起点とする経済活動の回復機運の高まり
- ✓ インフレの進展による事業者への影響懸念の高まり

社会的要因 -Social-

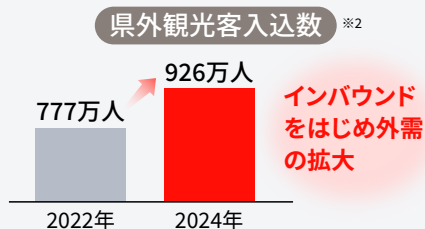
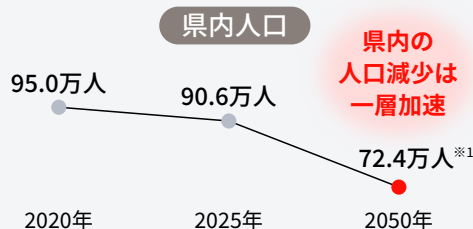
- ✓ 人々の価値観やライフスタイルの多様化
- ✓ 地方を中心に人口減少・少子高齢化は一層加速

技術的要因 -Technology-

- ✓ DX及びAIの潮流によりあらゆるサービスがデジタルシフト
- ✓ サイバー攻撃の高度化によるセキュリティリスクの高まり



香川県の動向



- 地域活性化
- ✓ 大規模アリーナの完成
 - ✓ 私立大学の市街地への移設
 - ✓ GPU専用データセンター設置
 - ✓ 外資系ホテルの誘致
 - ✓ 「業況判断DI」は過去最高を更新(2025年12月)^{※3}
- 関係人口増加を通じたにぎわいの機運の高まり

※1 国立社会保障・人口問題研究所 ※2 令和6年 香川県観光客動態調査報告 ※3 企業短期経済観測調査(日本銀行)

▶▶ 人口減少をはじめとするリスクに中長期的な視点で対処し、金利上昇や地域活性化の機運を捉えて収益拡大につなげる。



重要課題（マテリアリティ）の再認識

「地域」と「当行」の2軸で課題を優先順位付けのうえ、「百十四グループマテリアリティ」を再認識。

「地域」と「当行」の優先課題を再確認

取り巻く環境を踏まえて「優先課題マップ」を再整理

(優先度の変化を赤字)



大 社会のサステナビリティに対する影響度	<input type="checkbox"/> 生物多様性 <input type="checkbox"/> 森林破壊 <input type="checkbox"/> 海洋酸性化 <input type="checkbox"/> リサイクル <input type="checkbox"/> マイクロプラスチック	<input type="checkbox"/> 人生100年時代 <input type="checkbox"/> DX推進 <input type="checkbox"/> 次世代への対応 <input type="checkbox"/> 環境課題対応 <input checked="" type="checkbox"/> 生物多様性	<input type="checkbox"/> 地方創生/ 地域経済活性化 <input type="checkbox"/> 地域企業支援 <input checked="" type="checkbox"/> DX推進 <input checked="" type="checkbox"/> 地域の未来への対応
	<input type="checkbox"/> 地域ボランティア <input type="checkbox"/> 公共政策	<input type="checkbox"/> Web3 <input type="checkbox"/> 地域コミュニティ	<input type="checkbox"/> 職員のウェルビーイング向上(人的資本経営) <input type="checkbox"/> ガバナンス/ 経営基盤強化 <input checked="" type="checkbox"/> 情報セキュリティ強化
		<input type="checkbox"/> 法規制環境の マネジメント	<input type="checkbox"/> 事業領域拡大 <input type="checkbox"/> 新たな規制対応

当行のサステナビリティに対する影響度

大

マテリアリティの特定

引き続き、6つのマテリアリティを再認識



百十四グループマテリアリティ

地域経済活性化への
取組み

人生100年時代への
対応

多様な人材が活躍・
成長できる環境の整備

DXの実現と
地域社会のデジタル化

気候変動等、
環境課題への取組み

持続可能な
経営基盤の構築

「機会」と「リスク」を捉えて
事業活動の軸に



事業活動と“未来志向”の統合

150周年記念事業プロジェクト※1の“未来志向”を体現するため、
「地域の未来」を強く意識して、ステークホルダーのウェルビーイングに取り組んでいく。

※1 150周年記念事業プロジェクトとは？
20～40代の職員で構成し、百十四グループと地域の未来について議論する“未来志向”がキーワードのプロジェクト

百十四グループの
経営のサステナビリティ
向上

株主価値の向上

50年先の地域と当行グループの持続可能性を見据え、
「地域の未来」を強く意識することが重要と認識

✓ 地域の未来※2の安心・安全

※2 不確実性が高まる中で未来に生きる
全てのステークホルダーを包含した視座

ウェルビーイングな地域社会の創造

法人のお客さまの
ウェルビーイング

金融・非金融の重要な経営課題が解決されることで事業の成長が実感できる状態

地域の
ウェルビーイング

地域経済が活性化するとともに、重要な環境・社会課題が解決されることで、将来世代が安心して住み続けることができる状態

個人のお客さまの
ウェルビーイング

人生100年時代に向けてライフプランに沿った着実な資産形成の実現等により、将来に不安なく生活できる状態

職員のウェルビーイング

職員が働きがいと働きやすさを実感し、個々の能力を最大限発揮して自己実現が図られた状態

地域経済の好循環を通じた価値創造

事業活動を通じて地域の資本価値を高め、百十四グループの経営のサステナビリティ向上を実現。

百十四グループ
マテリアリティ

当行の経営資本
-インプット-

※当行数値は2025年3月末時点

地域経済活性化
への取組み



社会関係資本

- 個人顧客 約119万人
- 法人顧客 約5万社
- 11都府県に跨る広域ネットワーク

人生100年時代
への対応



人的資本

- マイスター認定者 95名
- 女性管理職比率 16.6%

多様な人材が
活躍・成長できる
環境の整備



製造資本

- 店舗数 133店舗
- ATMコーナー 131カ所
- バンキングアプリユーザー 10.4万人

DXの実現と
地域社会の
デジタル化



知的資本

- 「5+2」の領域における
コンサルティングノウハウ

気候変動等、
環境課題への
取組み



自然資本

- 自然災害被害額の少なさ 全国2位
- 瀬戸内の多島美

持続可能な
経営基盤の構築



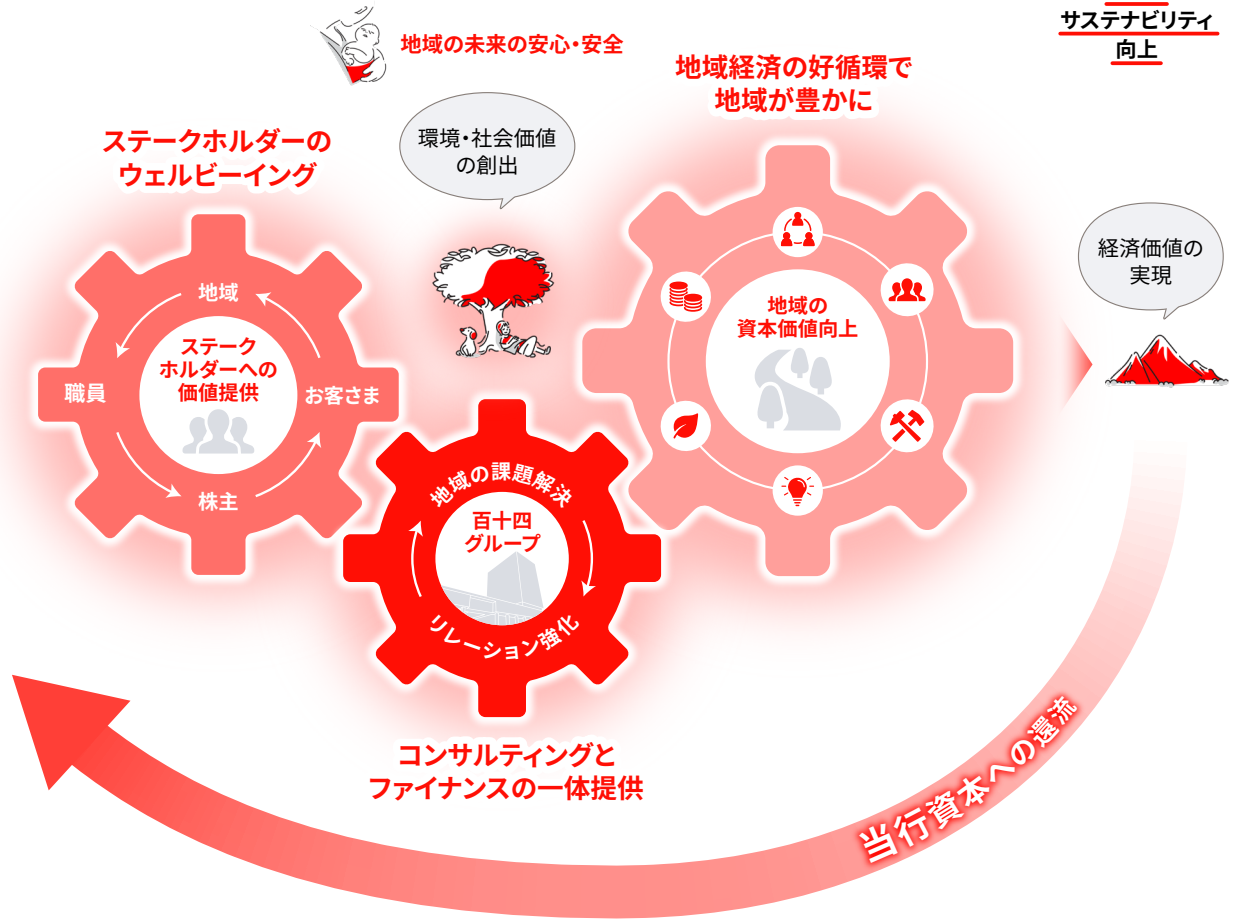
財務資本

- 総預金 4.7兆円
- 貸出金 3.5兆円

事業活動と提供価値
-アクティビティ&アウトプット-

めざす姿
-アウトカム-

百十四グループの
経営の
サステナビリティ
向上



マテリアリティ解決を通じた地域の資本価値の向上

経営資本を活用しながらマテリアリティを解決し、地域の資本価値向上をめざす。

当行の経営資本
—インプット—

※当行数値は2025年3月末時点

事業活動と提供価値
—アクティビティ&アウトプット—

当行の強み 

マテリアリティ  提供するソリューション 

地域の資本 

社会関係資本

- 個人顧客 約119万人
- 法人顧客 約5万社
- 11都府県に跨る広域ネットワーク

人的資本

- マイスター認定者 95名
- 女性管理職比率 16.6%

製造資本

- 店舗数 133店舗
- ATMコーナー 131カ所
- バンキングアプリユーザー 10.4万人

知的資本

- 「5+2」の領域におけるコンサルティングノウハウ

自然資本

- 自然災害被害額の少なさ 全国2位
- 瀬戸内の多島美

財務資本

- 総預金 4.7兆円
- 貸出金 3.5兆円

香川県内の強固な顧客基盤と広域ネットワーク

お客さまとのリレーション強化と最適なサービスを提供する人材

顧客体験価値向上を実現する利便性・機能性の高い多様なチャネル

総合コンサルティング・グループとしてのワンストップのサービス提供

オーセンティックで唯一無二の自然環境と地方ならではの住みやすさ

継続的な利益還元が可能な収益性と盤石な財務基盤

マテリアリティに基づく事業展開



“地域の未来”を意識したアプローチ



地域経済活性化への取組み

- 特色ある地域産業の創出
- 経営課題に対する高度なソリューションの提供

地域 お客さま

人生100年時代への対応

- ライフデザインに応じたサービスの提供
- 金融教育の実施

お客さま

多様な人材が活躍・成長できる環境の整備

- 人材に関するソリューションの提供
- 職場環境の整備

お客さま 職員

DXの実現と地域社会のデジタル化

- 地域のDXに向けたソリューション及び資金提供

地域 お客さま

気候変動等、環境課題への取組み

- 再生可能エネルギー活用
- 地域の脱炭素・自然環境保全への取組み

地域 お客さま

持続可能な経営基盤の構築

- 盤石な金融インフラの提供
- 金融機関としての信頼と安心

地域 株主

社会関係資本
—信頼・共助・連携—

人的資本
—健康・自己効力感・働きがい—

インフラ資本
—公共基盤—

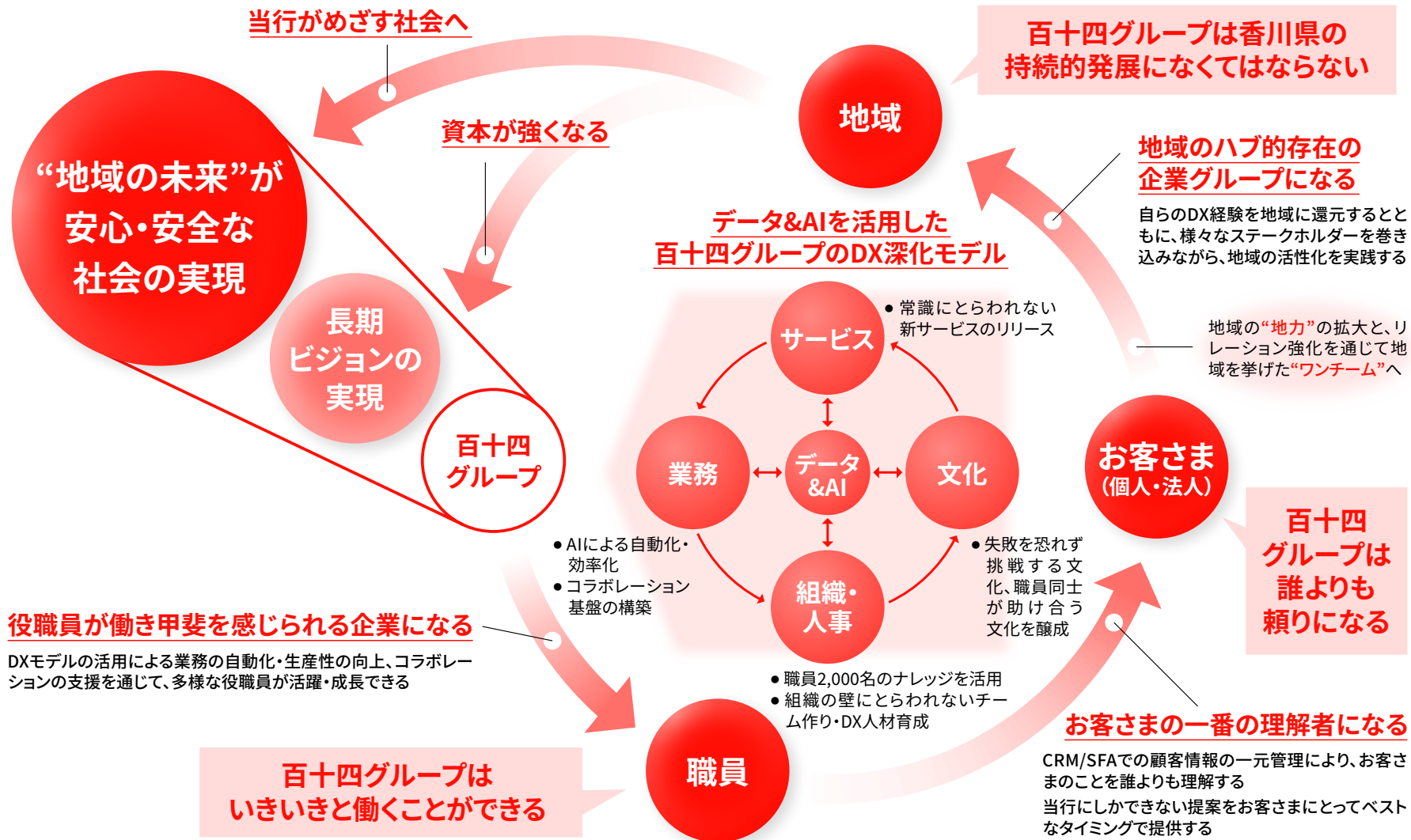
文化・知的資本
—誇り・継承・挑戦文化—

自然資本
—環境健全性・災害耐性—

経済資本
—所得・雇用・消費—

価値提供の循環によるビジネスの変革

DXと職員の活動を起点にステークホルダーへの価値提供を循環させる。



サステナビリティ指標の見直し

より一層、長期的な視点で地域のサステナビリティ実現に挑戦するため、長期指標を見直し。

サステナビリティKPI(～2026年3月)

[環境・社会価値]

地域の課題解決に向けた取組件数

法人のお客さまへのコンサルティング等の提供件数

資産形成をサポートする顧客数

金融教育受講者数

エンゲージメントスコアの持続的向上

女性役席者比率

デジタルでつながる顧客数

ICTコンサルティング取組先の倍増

CO2排出量削減率 -2013年度比-

サステナブルファイナンス実行額

政策保有株式の計画的削減

ステークホルダーとの対話拡充

[経済価値]

ROE5%程度

連結自己資本比率10%程度

サステナビリティ指標

》ウェルビーイング指標

職員のエンゲージメントスコア

CO2排出量削減率 -2013年度比-^{※1}

「法人のお客さまアンケート」評価結果^{※2}

個人のお客さまNPSスコア^{※3}

》経営基盤指標

連結ROE

連結自己資本比率

単体コアOHR(コア業務粗利益ベース)

》地域インパクト指標

香川県内の景気動向指数(CI)

香川県内人口の社会増減率^{※4}

※1 Scope1,2、グループ合算

※2 事業の課題が解決され、事業の成長を「実感している」と回答した先の割合

※3 家族や友人等に、当行の商品やサービスを薦めたいと思う度合いをスコア化したもの

※4 1年間の社会増減数/基準年の10月1日現在人口×100